



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <https://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第567号

2022年10月10日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

「土地利用規制法」が全面施行されました

9月20日に全面施行された「土地利用規制法」、正式名称は「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律」。

この法律では、重要施設の敷地の周囲おおむね1キロメートルを「注視区域」として指定し、調査・監視を行い、必要があれば土地・建物の利用を制限され、懲罰や罰金を科せられる場合があります。

あなたも対象かも！？ 八千代市の注視区域

八千代市に隣接している習志野演習場も重要施設であり、周囲1キロメートルが「注視区域」の対象です。9月議会における日本共産党の質疑では、八千代市の約1万3千世帯、約2万8千人もの市民が対象になることが明らかになっています。実際には「注視区域」で働く方なども対象になりますので、実際にはもっと多くの方々が対象となるはずです。

しかしながら、これだけの対象者が居るのにも関わらず、まったく告知されていないのが現状です。

※裏面に「習志野演習場から1キロメートルの目安図」を掲載

まるで戦前の要塞規制法、土地利用規制法は廃止すべき

戦前・戦中には、軍事施設などの周辺へ立ち入り、撮影などを禁止し、処罰する「要塞規制法」によって国民が弾圧された経緯がありました。土地利用規制法も同様に、戦争の準備に向けた内容になっています。

なによりも土地利用規制法では、どのような行為が対象なのか？など、内容が曖昧なため、内閣府つまり内閣総理大臣によって、解釈が変えられてしまう可能性がある点が非常に危険です。

日本共産党は、問題だらけの土地利用規制法は廃止するべきと求めています。

オスプレイいらない！市民集会が開催されました

10月1日、船橋市の薬円台公園で、墜落を繰り返す危険な航空機オスプレイの訓練中止と配備撤回を求める、集会が行われ400名を超える市民が集まりました。

今年に入ってから、海外で2度に渡る死亡を伴う墜落事故を繰り返しているオスプレイは、自衛隊に導入される以前から墜落の原因と言われている、クラッチの不具合があることが、明らかになっています。

日本共産党八千代市議団でも、市民の暮らしと安全を守るために「オスプレイいらない！」の声をあげています。



10月1日、集会に参加した日本共産党市議団